

連載企画

教材活用 講座

第1回

実力テストと進学教材 の連動で相乗効果を

この連載では、全国各地の中学校でお聞きした、補助教材を活用しながら生徒のみなさんの学力向上に向けて工夫されている取り組みをご紹介します。と考えております。

今回は、二つの地域でお聞きした、実力テストと進学教材（総まとめ教材）を組み合わせることで、学習効果を高める工夫がされている実践事例をご紹介します。

事例1

「新研究」と実力テストで、 学習のPDCAサイクルを確立

～兵庫県での「新研究」+実力テストの使用事例～

事例2

先生・生徒・保護者で取り組む特別学習

～新潟市での「新研究」+実力テストの使用事例～



「新研究」と実力テストで、学習のPDCAサイクルを確立

兵庫県での「新研究」＋実力テストの使用事例

兵庫県に、5教科セットの「新研究」と付属ノート、実力テストを組み合わせた、学習のPDCAサイクルの実現に取り組む学校がある。ここでは、その学習のしくみと、実践校3校の事例を紹介する。

① PLAN 計画表の配付と「新研究」学習開始

2年生の成人の日のころに、「新研究」本誌5教科と付属ノート、実力テストの年間計画表（「新研究」の本誌ページが入った出題内容表が配付され、「新研究」学習がスタート）。

② DO 「新研究」を使ったテスト前勉強

実力テストの年間計画表（出題内容表にそって、「新研究」を使った家庭学習をさせる。学習の進め方は、学校ごと、先生ごとに工夫して指示される。（解説ページの学習のみを先にする、A問題のみを先にするなど。）

③ CHECK 実力テストの実施・ノートの点検

テストの出題範囲にそって、ノートを使って学習するよう指示し、テストの前後でノートを回収・点検。

④ ACTION 「新研究」を使ったテストの振り返り

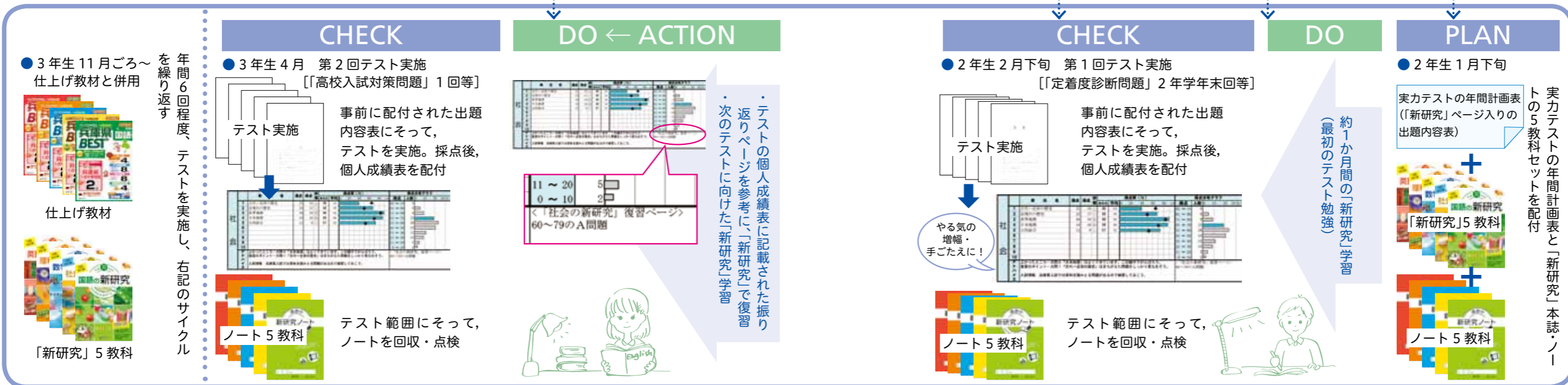
テストの個人成績表で、生徒ごとに、復習しておくべき「新研究」のページが具体的に示されるため、効果的な振り返り学習ができる。

⑤ DO 次のテストに向けた「新研究」学習へ

この②～⑤のサイクルを、2年生で1回、3年生で6～7回のテストを実施しながら繰り返していく。

テストの結果は、「学習のあゆみ」と呼ばれる台紙に、定期テストの結果などと一緒に貼り、裏面に生徒自身の言葉による振り返りを記載して、テスト実施のたびに保護者に見せる。保護者の検印をもつて、学校に提出させる。

テストは、実施時期によって、難易度が高めのもの（高校入試対策問題）などと、難易度が低めのもの（定着度診断問題）などを組み合わせて、生徒の学習へのモチベーションを高めるよう、各学校の状況に応じて工夫されている。



実力テストの年間計画表と「新研究」本誌・ノートの5教科セットを配付

約1か月間の「新研究」学習（最初のテスト勉強）

事前に配付された出題内容表にそって、テストを実施。採点后、個人成績表を配付

やる気の増幅・手ごたえに！

テスト範囲にそって、ノートを回収・点検

テストの個人成績表に記載された振り返りページを参考に、「新研究」で復習・次のテストに向けた「新研究」学習

事前に配付された出題内容表にそって、テストを実施。採点后、個人成績表を配付

テスト範囲にそって、ノートを回収・点検

年間6回程度、テストを実施し、右記のサイクルを繰り返す

3年生11月ごろ～仕上げ教材と併用

実践校の先生に聞きました！①

兵庫県公立中学校 英語科「担当」先生
「新研究」採用時期は2年生3月ごろで、3年生12月ごろまで使用。本誌・ノートの10冊セット。テストは、3年生4月、6月、9月、11月、1月、2月に実施しています。テストの出題範囲は、年間の一覽表で最初に示しています。ノートの回収・点検は毎月、日を決めて行っています。テストを戻すたびに、「学習のあゆみ」(A3の台紙)のオモテ面に、実力テストと定期テストの結果を貼らせてます。ウラ面には、生徒自身の言葉で振り返りのコメントを書かせ、それを親に見せて、親が判を押して、学校に持ってくるよう指示します。7月と12月の三者面談の際に、個票を見ながら長期休み中の過ごし方などのアドバイスをしたりもしています。

「新研究」の学習方法として、1回目「基本チェック」のみ、2回目は「A問題」のみ、3回目は「B問題」のみをするように指示しています。そうすると、生徒は3回解説ページを読むようになります。夏休みの補習のときに、「新研究」をやらせることもあります。

実践校の先生に聞きました！②

兵庫県付属中学校 理科「担当」M先生
2年生3学期（1月ごろ）から「新研究」5教科とノート、テストの範囲表を配付します。テスト対策の指示は、その都度行いません。この学校の生徒は、自学する習慣ができていたので、生徒の主体性に任せています。ノートの提出・チェックは、毎回のテストごとに行っています。長期休暇中を含め、宿題としてやらせることが多いですが、授業時間に使用することもあります。例えば、昨年の3年生は、理科の教科書内容が早めに終わったため、「新研究」を使って授業中に振り返り学習を行いました。

実践校の先生に聞きました！③

兵庫県公立中学校 社会科「担当」F先生
2年生3学期の2月初めごろに「新研究」を配付し、2月の終わりの期末テスト後に本格的に「新研究」学習を始めます。本誌5教科とノートの10冊セットを使います。年間数回の「課題テスト（実力テスト）」を導入し、「新研究」のページ数が入った範囲表にそって学習させています。テスト範囲ごとにノートを提出させます。「提出のために解答の丸写しはするな」と指導しています。長期休暇明けにも「課題テスト」を実施し、休暇明けは、広めの範囲でノートを提出させています。テスト明けに生徒に配付される個人成績表の「よかったところ」が生徒にとって励みになっているようです。

3年生1学期までに1・2年範囲のノートを使った学習は終わらせ、夏休みは本誌に記入して1・2年内容の2回目の学習をさせます。3年生1学期内容のノートを使った1回目学習も、夏休みにさせます。2学期以降の学習内容は、2学期末までに終わらせるようにしています。

先生・生徒・保護者で取り組む特別学習

新潟県での「新研究」＋実力テストの使用事例

新潟県では、進学に向けた学習指導を、通常の授業とは別の「特別学習」という位置づけで行っている学校がある。「特別学習」を実施するかどうかはPTAが中心になって決定するため、その実施に際しては、先生と生徒だけではなく、保護者の協力も得て、三者が一体となって取り組んでいる。ここではその中から「新研究」と実力テストを組み合わせ、実施している学校の実践事例を紹介する。

教材の選定

各出版社が出している進学用の教材について、PTAの代表数名が検討を行い、使用教材を決定する。

「新研究」に決定！



生徒へのガイダンス

「新研究」を使い始める前に、生徒に対してガイダンスを実施し、次のようなことを伝える。

- ・「特別学習」のねらい
- ・学習の進め方
- ・学習のスケジュール
- ・確認テスト・実力テストのスケジュール

スケジュール例

月	行事	学習内容	テスト
2月	特別学習ガイダンス		
11月	特別学習開始		
12月	特別学習開始	「新研究」1・2年範囲の「解説ページ」	「A問題（基本問題）」
1月			
2月	後期期末テスト		確認テスト （新学社「定着度診断問題2年」）
3月	終業式		
4月	始業式		
5月			
6月	前期中間テスト		
7月	地区大会・県大会 保護者会 終業式		
8月	全国大会		
9月	体育祭 前期期末テスト		
10月	始業式 市総体 合唱祭		
11月	後期中間テスト		
12月	保護者会 冬休み		
1月	私立入試		
2月	後期期末テスト		
3月	卒業式 公立・私立入試		

学習方法

「新研究」の1・2年範囲に二回取り組むため、一回目は「新研究」の付属ノートを全員使用する。二回目については、再度付属ノートを購入するか、市販のノートを使うか、生徒に選択させている。

学習計画

学校行事との兼ね合いを調整しながら年間の学習計画表を作成する。

基本は一日一教科！中には自分でどんどん進めて、入試までに三回以上取り組んだ生徒もいます。その生徒は、「新研究」のどのへんに何が書いてあるのか覚えてしまった」と言っていました。もちろん希望高校に合格です！



ノート点検

点検する週を設定し、その週は、一日一教科ずつノートを提出させる。その週末までの計画通りに学習が進んでいるか、先生が点検を行う。

「学習会」

ノート点検で、学習が不十分な生徒については、毎月一回設定している「学習会」で手当てを行っている。

ノート点検終了後に、該当の生徒の保護者に連絡し、「次の学習会に出てもらう」と伝えて伝える。

普段は生徒指導で電話することが多いですが、生徒指導のときは違って、こういう学習面での連絡だとほかのこともいろいろと話せて、保護者同士がわかるのがよいところだと思っています。



「学習会」では先生の監督の下、生徒が「新研究」と「ノート」を持参し、各自で「新研究」に取り組む。

実力テスト

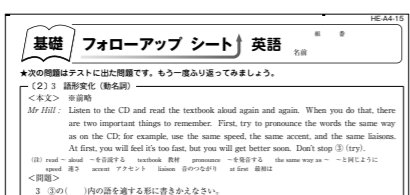
1・2年範囲の一回目をほぼ学習し終わった二年生の三月ごろに、確認テスト（新学社「定着度診断問題」学年末）を実施する。

三年生では、一回目を七月に実施、夏休みを挟んで、九月から十一月までは毎月実力テスト（新学社「高校入試対策問題」）を実施する。

テストの事前に配付する出題範囲表には「新研究」の何ページから何ページまでがその回のテスト範囲を示し、「新研究」と実力テストを結び付けている。

第1期	第2期	第3期	第4期
7月 8日(土)	9月 23日(土)	10月 14日(土)	11月 1日(土)
新研究 1・2年範囲	新研究 1・2年範囲	新研究 1・2年範囲	新研究 1・2年範囲
実力テスト	実力テスト	実力テスト	実力テスト

実力テストと「新研究」を関連させることで、生徒の学習へのモチベーションがアップしています。



英語のフォロー問題のサンプル。苦手な分野に取り組むことができる。（フォロー問題のないテストもあります。）

得意分野	苦手分野
読解	文法
リスニング	英作文

実力テストの生徒用個票。得意分野・苦手分野のアドバイスだけでなく、「新研究」のどこで復習すればよいかも示されている。

三年生向けに大手の塾の統一テストがたくさん開催されていますが、学校で実施している実力テストは、価格が断然安いのに、個別のアドバイスシートや、苦手分野のフォロー問題までついているので、親としてはたいへんありがたいです。

